

## 世界初・世界最大の「ガラスの琴」の製作に成功。



2003年世界初のガラスのバイオリン、2004年ガラスのチェロ・ビオラの製作に続き、2006年秋には、世界初・世界最大の「ガラスの琴」の製作に成功しました。これらの製作の成功理由は、耐熱ガラスの持つ素材特性と、ハリオが持つ手吹きの高水準の高さによるものです。

「ガラスの琴」のガラス成形の難しさは、細長い形状で、かつ長さ1500mmにもなる今までにない大きなものを薄く均一に、さらに肉だまりなく表面を美しくする点でした。

手吹きでかつ停止吹きの高水準の技術をもつ熟練の職人が試行錯誤した後、琴本体の再現に成功し、カミオカンデを上回る世界最大のガラス成形品が誕生となりました。

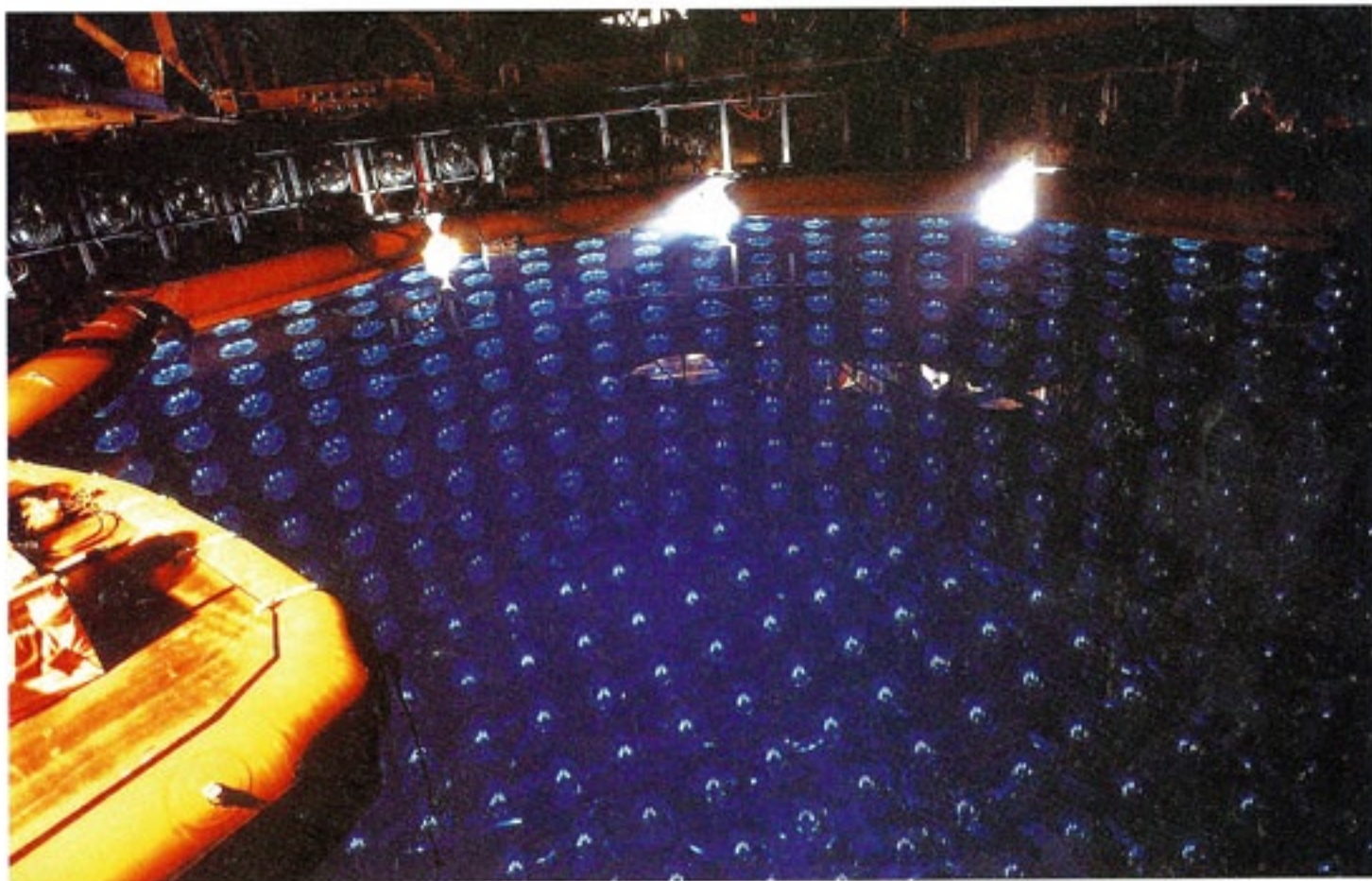
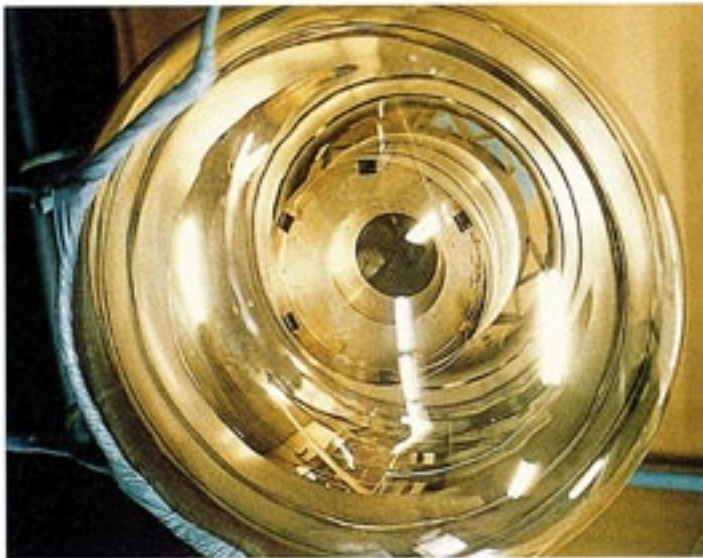


すべてガラス製の楽器による弦楽四重奏が実現。

現在、コンサートやイベント等でガラスの技術と芸術のコラボレーションを披露しています。

玻璃王バイオリン

## ノーベル物理学賞受賞 「カミオカンデ」



東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設提供

2002年ノーベル物理学賞受賞の、小柴昌俊 東大名誉教授の研究装置「カミオカンデ」(素粒子観測装置)に約1,000本使用された20インチ径・光電子増倍管の材料は、昭和56年に当社が作成したものです。当時、直径50cm、厚さ4mmで均一にガラスバブルを作るには手吹きしかなく、しかも至難の業でした。

当時の様子について古河工場取材を受けた内容が、NHKの人気番組であった「プロジェクトX」で2003年5月27日(火)午後9時15分~10時「衝撃のカミオカンデ「地下1000mの闘い」」と題して放送されました。